

平成 27 年度 第 1 回学校関係者評価委員会報告書

鳥取県立八頭高等学校
校 長 小倉 健一

評価日		平成 27 年 6 月 15 日 (月)	
委員	氏名	資格・所属等	委員長
	内田 八孝	学校関係者評価委員 紅白園 職業訓練指導員	○
	山本 和代	学校関係者評価委員 PTA 副会長	
	村山 洋子	学校関係者評価委員 船岡小学校長	
	小林 俊介	学校関係者評価委員 八頭中学校教頭	
	佐々木 定義	学校関係者評価委員 鳥取県警察本部スクールポーター	
第 1 回 学校評議員会と同時開催			
	新 誠	学校評議員 八頭町郷土歴史研究会 会長	
	吉田 英人	学校評議員 八頭町長	(欠席)
	佐藤 雅子	学校評議員 鳥取県スポーツ指導員	
評価・提言		学校の所見・改善策等	
<p>1 前年度の最終評価について</p> <p>○以前に比べて最近は 基本的な生活態度・服装が乱れていない。髪もきちっと結んでいる。指導の成果であり、生徒の意識が向上していると感じる。</p> <p>○校舎に入ったのは 40 年ぶり。生活習慣、挨拶ができています。地域からの良い評価がある。毎朝地域に出て挨拶をしておられる近所のおじいさんも八頭高生の挨拶を喜んでいる。社会でも地域でも挨拶は必要。</p> <p>○服装・生活態度は、数年前に比べよくなっている。挨拶も良く返してくれているなど、朝の登校時に感じる。</p>		<p>●PTA 生活指導委員会からも、良いと言われている。服装の乱れについて、悪い兆しを感じたら早い段階で生徒指導部が教職員に連絡する。それを受けて担当が生徒へ伝えている。</p>	
<p>2 前年度の県立学校裁量予算による学校運営の状況について</p> <p>(後日) 言語活動充実事業について委員よりご提案</p> <p>○企業での英会話教育の事例とポイントを紹介いただく。</p>		<p>●紹介いただいたテキスト・DVD を図書館に購入予定</p>	
<p>3 今年度の評価計画について</p> <p>(1) 目標設定について</p> <p>○資料 P15 「学習と部活動の両立」について 運動も勉強もしなければならないが、是非、生徒の自主性を大切にしてほしい。「学習と部活動にけじめをつけ…」の表記について、なんのけじめか？両者を有効にいかしてゆくというような表記が望ましいのではないか。自主性</p>			

を高める活動をしてゆかなければならない。

(2) 目標達成のための取組について

I 八頭高生らしい生活態度の育成

○市内で補導をしているとき、歩きながらのスマートフォンが危険だと思う。家庭では、ほったらかしなのか言っても聞かないのか、そのあたりを聞きたい。

○自転車の法改正については、どうしているのか。

II 授業改革と主体的学習者の育成

○資料 P15 授業改革「失敗しても立ち直れる。」力について。現在は、受け身な生徒（青年）が多い。主体的、自らがチャレンジする仕組み作りは必要。保護者が手をかけすぎたのか。術を知らない生徒が増えていると思う。生きてゆくすべを親が代わりにやってきたのかもしれない。

○心配しなくても、課題を与えて、考えさせれば今の子どもはしっかりしている。今は、先鞭を切る子が減っている。何か課題を与えられたらやる、与えられなければやらない、という気質〔時代〕なのか。しかし、八頭高の生徒は元気がある。いろいろなことに、チャレンジしている。そのチャレンジの結果を認めてあげることが必要。

○英語の件。英検は取得するが英会話はできない。生の言葉を学ばすために、オーストラリアに派遣を毎年行ってほしい。色々なプロジェクトをとってきてほしい。

○授業見学では、英語のペア学習が印象に残った。私は受験英語には強かったが、会話ができなかった。日ごろから、見学した授業のようにコミュニケーションをとっていれば、日常でも対応できる。

III コース（探究・総合・体育）における特色ある教育活動の推進

○体育コースの倍率の低さが目につく。部活動の要になっているコースだが、近年、中学生が体育コースに消極的。公立高校なので部顧問の転勤は仕方がないが、部活動の魅力をアピールしてほしい。体育コースがなくなる

●今年度は保護者対象の研修会（スマートフォン利用に関する内容）を実施予定。

●毎朝、情報を流している。また、自転車通学路について八頭町教委と提携を結んでいるところ。自転車でのイヤホンも現在気になっており、夏休み前の郡家警察署による講演会で、自転車の法改正などにも触れたい。

●グループ活動、発表の機会を増やすなど経験することを通して主体的に取り組む力をつけることができるような仕掛けづくりに取り組む予定。

●以前は国英科があり派遣をしていた。現在は、鳥取イングリッシュクラブに多くの生徒が参加。県の短期留学や1年間の留学もしている。ESS 部（部員30名程度）の活動をしたり、G テック1年生全員受験をしている。

●プロジェクトは中々大変だが、やはり必要なことである。英語科へも伝えてゆきたい。

●今年度は体育コース独自のパンフレットを作成し、体育コースの魅力を積極的に広報する予定。

のではないかという噂までもある。

IV八頭タワープロジェクトの充実

○八頭タワープロジェクトについて 小学校時代、八頭高校で高校生と一緒に陸上競技をしたことがある。その時、高校生はすごく速く走った。以前車にぶつかった時も、高校生が助けてくれた。高校生が、小学生・中学生に与える影響は大きいと思う。

(3) 評価基準及び評価指標について

○アンケートで、生徒・保護者の評価がよい項目でも教員の評価が厳しい。このギャップはどうか？

4 学校運営や予算に関する提言

○八頭校は八頭郡の中学校に近い位置にある。中学にとつての八頭高校のイメージ。学校紹介後、中学校の教員間で学校の評価を行う。(生徒もそう)八頭校の良さって、いったい何なんだろう。多様なことができる、八頭高校をもっとアピールするべきだと思う。学力選抜クラスを1年次から設定していることも積極的に生徒・保護者に伝えてほしい。私の家の中では「八頭高が良いから。八頭高を選んだ。」この良さが中学生伝わり切っていないのが残念。もっと、もっと、アピールしてほしい。

○家は若桜なのだが、列車通学の鳥取西高・東高の生徒も同じ時間に帰ってくる。学校で学習時間が確保できるような手立てなど、八頭高校ならではの特徴が欲しい。

○新校舎が完成し、体育施設にも恵まれて素晴らしい。しかし、この環境の良さにあぐらをかいている生徒が始めている。感謝の気持ちを感じていない生徒がもいるのも事実。ものの大切さを見つめなおす時間が必要だと思う。至れり尽くせりになってきている。(教員・地域への)ありがたみを実感してほしい。

●今年度自己評価表では、ご指摘のギャップについても分析する予定。

●いただいたご意見を今後の学校運営にぜひいかしたい。